

各位

上場会社名 株式会社神戸製鋼所  
 代表者 代表取締役社長 佐藤 廣士  
 (コード番号 5406)  
 問合せ先責任者 秘書広報部 広報担当部長 大井 敬一  
 (TEL 03-5739-6010)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月3日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,200,000	119,000	71,000	13,000	4.32
今回発表予想(B)	2,170,000	111,000	51,000	△32,000	△10.65
増減額(B-A)	△30,000	△8,000	△20,000	△45,000	
増減率(%)	△1.4	△6.7	△28.2	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	2,132,405	202,398	157,918	88,923	29.62

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,395,000	64,000	44,000	11,000	3.65
今回発表予想(B)	1,350,000	60,000	32,000	△28,000	△9.31
増減額(B-A)	△45,000	△4,000	△12,000	△39,000	
増減率(%)	△3.2	△6.3	△27.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,283,638	109,926	86,245	42,959	14.28

## 修正の理由

当期の連結売上高は、鉄鋼やアルミ・銅および建設機械関連事業等における販売数量の減少及び機械関連事業での一部案件の来期へのずれ等により、前回見通しに比べて300億円減収の2兆1,700億円程度となる見込みです。また、損益につきましては、販売数量の減少に加えて、鉄鋼や建設機械関連事業を中心とした「棚卸資産の評価に関する会計基準」(いわゆる低価法)の適用に伴う損失の拡大等により、連結営業利益は前回見通しに比べて80億円減益の1,110億円程度、経常利益は前回見通しに比べて200億円減益の510億円程度となる見込みです。当期純損益につきましては、経常利益の悪化に加えて、投資有価証券評価損の拡大、および一部の固定資産について減損処理を行うことに伴う損失の発生等により特別損失が増加することや、繰延税金資産の取崩しの影響もあり、前回見通しに比べて450億円減益の320億円程度の損失となる見込みです。

なお、投資有価証券評価損は当社の保有する上場株式を中心に約170億円、固定資産の減損損失は足下で設備の稼働率が低下している当社長府製造所の銅板事業に係る固定資産や時価の下落している一部の賃貸用資産などについて総額約156億円を計上する予定です。また、繰延税金資産については、当期の業績見通しが悪化する見込みとなったことから、その回収可能性を慎重に検討し、約370億円を取崩すこととしました。

単独業績につきましては、当期の売上高は、前回見通しに比べて450億円減収の1兆3,500億円程度、営業利益は前回見通しに比べて40億円減益の600億円程度、経常利益は120億円減益の320億円程度、当期純損益につきましては390億円減益の280億円程度の損失となる見込みです。

なお、単独業績に係る投資有価証券等評価損の影響は約186億円、固定資産の減損影響は約176億円、繰延税金資産の取崩し影響は約284億円を見込んでおります。

以上